

## 研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<b>&lt;研究課題名&gt;</b> 急性心不全回復期における SGLT2 阻害薬早期投与の効果と安全性に関する探索的研究
<b>&lt;研究機関・研究責任者名&gt;</b> 日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科 (研究責任者) 奥村 恭男
<b>&lt;研究期間&gt;</b> 承認日～令和 5(西暦 2023)年 3 月 31 日
<b>&lt;研究の目的と意義&gt;</b> SGLT2 阻害薬が慢性心不全や慢性腎臓病、糖尿病に罹患されている患者さんに良い効果をもたらすことが知られています。一方で尿量を増やすという側面もあり、慢性腎臓病、糖尿病を合併した、余分な水が溜まっている心不全の患者さんに対してしばしば投与されています。しかし、その効能や安全性はまだ報告が少ないため、今回 SGLT2 阻害薬の種類(ダパグリフロジン、エンパグリフロジン、カナグリフロジン)や有無の観点から調査致します。この研究により SGLT2 阻害薬の適切な導入時期が判明致します。
<b>&lt;利用する試料・情報の項目&gt;</b> 診療記録より、年齢、性別、超音波画像、血液検査データ、尿検査、治療方法を使用いたします。
<b>&lt;対象となる方&gt;</b> 令和 1 (西暦 2019) 年 4 月 1 日～令和 4(西暦 2022)年 4 月 19 日の期間に循環器内科で心不全の治療を開始され、入院から 1 週間以内に利尿薬の点滴投与から利尿薬の飲み薬に変わった患者さんです。SGLT2 阻害薬の投与されている、されていないで比較を行います。SGLT2 阻害薬は、種類にもよりますが、心不全や慢性腎臓病、糖尿病に適応があり、対象となる全ての方は SGLT2 阻害薬への適応をお持ちの方です。対象となる方への直接的なメリットはありませんが、治療法について再確認につながる可能性があります。
<b>&lt;研究の方法&gt;</b> 既存のデータを使用して、SGLT2 阻害薬の効果を検討いたします。新たに検査を追加することはありません。
<b>&lt;お問い合わせ窓口&gt;</b> 日本大学医学部附属板橋病院 (東京都板橋区大谷口上町 30-1) 氏名: 奥村 恭男 分野(診療科): 循環器内科 電話: 03-3972-8111 03-3972-8111(内線 2412)

青字は記載上の注意事項や記載例ですので、記載後は削除して、余白をつめてください。